



平成21年11月6日

各 位

上場会社名 クリナップ株式会社  
 代表者 代表取締役社長 井上 強一  
 (コード番号 7955)  
 問合せ先責任者 執行役員経理部長 田中 仁  
 (TEL 03-3894-4771)

## 第2四半期業績予想との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位：百万円)

平成22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値との差異（平成21年4月1日～平成21年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	51,000	350	300	0	0.00
今回修正実績(B)	48,482	1,362	1,278	1,134	24.10
増減額(B-A)	△ 2,517	1,012	978	1,134	
増減率(%)	△ 4.9	289.3	326.2	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	54,193	△ 606	△ 652	△ 1,020	△ 20.91

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	104,500	1,000	900	100	2.08
今回発表予想(B)	99,000	1,000	900	300	6.39
増減額(B-A)	△ 5,500	—	—	200	
増減率(%)	△ 5.3	—	—	200.0	
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期)	109,205	△ 1,100	△ 1,163	△ 3,317	△ 68.38

平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値との差異（平成21年4月1日～平成21年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	49,500	150	300	50	1.04
今回修正実績(B)	46,803	1,016	1,165	1,109	23.57
増減額(B-A)	△ 2,696	866	865	1,059	
増減率(%)	△ 5.4	577.8	288.5	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	52,341	△ 899	△ 706	△ 950	△ 19.48

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	101,000	550	650	50	1.04
今回発表予想(B)	95,500	550	650	200	4.26
増減額(B-A)	△ 5,500	—	—	150	
増減率(%)	△ 5.4	—	—	300.0	
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期)	105,622	△ 1,751	△ 1,547	△ 3,131	△ 64.56

## 修正の理由

### 1. 第2四半期累計期間

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、昨年秋の米国金融危機に端を発した世界的な景気後退の影響を受け、住宅設備機器業界におきましても、新設住宅着工戸数が前年同期の低水準をさらに下回り、所得減少や生活不安の影響から、リフォーム需要も低調なまま推移いたしました。このような状況下で当社は、徹底したコスト削減に取り組んだ結果、想定よりも減収ながら増益となりました。

### 2. 通期

通期の見通しにつきましては、わが国経済に一部持ち直しの兆しは見られるものの、個人消費の回復までには、さらに時間を要するものと予想されます。新設住宅着工戸数も極めて低水準のまま推移しており、住宅設備機器業界を取り巻く環境は、一層厳しい状況が予想されます。このような状況下で当社は、需要構造の変化にキメ細かく対応した販売活動を積極的に推進、生産面での原価低減、経費の圧縮等コスト削減にも引き続き努めてまいります。

以上により、通期の業績予想につきましては、平成21年5月11日公表の業績予想を一部修正させていただきます。

(注)上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の実績は、今後様々な理由によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上